

二人の石切り職人

旅人が、ある町を通りかかりました。  
その町では、新しい教会が建設されているところであり、  
建設現場では、二人の石切り職人が働いていました。

その仕事に興味を持った旅人は、  
一人の石切り職人に聞きました。

あなたは、何をしているのですか。

その問いに対して、石切り職人は、  
不愉快そうな表情を浮かべ、  
ぶっきらぼうに答えました。

このいまましい石を切るために、  
悪戦苦闘しているのさ。

そこで、旅人は、もう一人の石切り職人に  
同じことを聞きました。

すると、その石切り職人は、  
表情を輝かせ、生き生きとした声で、こう答えたのです。

ええ、いま、私は、  
多くの人々の心の安らぎの場となる  
素晴らしい教会を造っているのです。

どのような仕事をしているか。

それが、我々の「仕事の価値」を定めるものではありません。

その仕事の彼方に、何を見つめているか。

それが、我々の「仕事の価値」を定めるのです。